

渡利璃穂選手プロフィール

松江市奥谷町出身、1991（平成3年）年9月19日生れ（24歳）

現在、アイシン・エー・ダブリュ所属

今年8月、レスリング女子75kg級でリオデジャネイロ・オリンピックに出場

【レスリング競技歴】

松江市立城北小学校1年生のとき、島根県立武道館レスリング教室で競技を始める。

最初の頃は体操教室と思い込んでいたとのこと。4年生で県大会初優勝。5年生で全国大会に出場するも1回戦負け。この敗戦の悔しさがバネになり、松江レスリングクラブにも所属して本格的に練習を重ね6年生の全国大会では2位。

松江市立第一中学校1年生のとき、初めての全国大会優勝。3年生の時、3つの全国大会すべてを制し、アジア・カデット選手権（タイ）にも優勝。世代のトップに躍り出る。

オリンピック金メダリストの吉田沙保里選手の誘いを受け、レスリングの名門至学館高校、至学館大学（ともに愛知県）へ進学し、世界ジュニア選手権、ユニバーシアードにも出場。2013年に天皇杯全日本選手権63kg級で優勝して、初の日本一となる。

アイシン・エー・ダブリュの所属となった2014年には、世界選手権に初出場。その2週間後に迎えた仁川アジア大会（韓国）で、ラスト5秒の大逆転劇で金メダルを獲得。

しかし、2015年6月の全日本選抜選手権で2位となり、本来の63kg級でのオリンピック出場の道がたたれたため、唯一日本がオリンピックの出場枠を獲得していない2階級上の75kg級に1日5食の増量で転向。12月の天皇杯全日本選手権では、見事この階級でも逆転で初優勝し、2度目の日本一になる。

2016年3月のオリンピック・アジア予選（カザフスタン）でも逆転優勝し、日本にオリンピックの出場枠を獲得。重量級にも通用する強烈なタックルと最後まであきらめない粘り強さで勝ち取ったこの実績を持って、念願のオリンピック代表に選出された。